

1 生活の質の向上と定住人口の確保

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
<p>1-1 子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり</p>	<p>1-1 恵まれた自然環境の中での切れ目のない子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●妊娠期・出産期・子育て期までの切れ目のない支援体制づくり ●子育てコミュニティへの支援の充実 ●豊かな自然環境の中で子どもたちがのびのびと育つ環境づくり 	<p>1. 平成 28 年度行政評価 B：妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する</p>
			<p>2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 ・2-1-1 教育・保育環境の充実</p>
			<p>3. 町民 WS 意見で出された重要な取組 ・多様なニーズに対応した子育て環境の推進 ・自然をいかした子育て環境の整備 ・子どもたちが安心して遊べる環境づくり</p>
			<p>4. 町長ヒアリングにおける発言 ・ワンストップでの子育て支援の体制づくり</p>
			<p>保育の環境の充実は、町民満足度調査でも重点的な改善が必要な施策となっているほか、町民WSでも充実が求められている取組であり、少子化対策としても効果が期待できることから、町の資源である自然環境を活かしつつ、充実した子育て・子育てへの支援を引続き取り組んでいくことが必要である。</p>

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
1-2 特色ある学校教育 による子どもたちの生 きる力の育成	1-2 特色ある学校教育 の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●小中一貫教育や英語教育などの二宮らしい特色ある教育の実施 ●地域との連携による教育活動の充実 ●学区再編と学校の統廃合 	1. 平成28年度行政評価 A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する
			2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 <ul style="list-style-type: none"> ・2-1-1 教育・保育環境の充実 ・2-2-1 教育内容の向上 ・2-2-2 支援を必要とする児童生徒への対応の充実 ・2-2-4 安全・安心な教育施設の整備
			3. 町民WS 意見で出された重要な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校教育
			4. 町長ヒアリングにおける発言 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校の設置推進 ・特色ある教育の実施
			<p>教育環境や教育内容の充実は、町民満足度調査でも重点的な改善が必要な施策となっているほか、町民WSでも充実が求められている取組であり、よりよい教育環境を求めている若年ファミリー層の転入増加も期待できることから、町外からみても魅力ある教育環境・教育内容の充実に引き続き取り組んでいくことが必要である。</p>

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
1-3 誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり	1-3 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくり活動・未病に対する取組の推進 ●独り暮らしの高齢者等が地域で孤立しないための取組の推進 	1. 平成28年度行政評価 B：妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する
			2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 <ul style="list-style-type: none"> ・1-2-1 地域包括ケアシステムの構築 ・1-2-4 充実した介護サービスの提供
			3. 町民WS意見で出された重要な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの活性化支援・地域組織との連携
			4. 町長ヒアリングにおける発言 <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり活動の推進 ・独居高齢者の孤立防止対策の充実
			<p>今後、高齢化が進行する中で、町民満足度調査でも地域包括ケアシステムの構築や充実した介護サービスの提供に関する施策は重点的な改善が必要な施策となっている。</p> <p>また、いつでも元気に過ごせるための健康づくり活動や未病対策のほか、今後、増加することが想定される単身高齢者でも、地域の中で人と人とのつながりを持ちながら住み慣れた場所で暮らし続けられる環境づくりを進める必要がある。</p>

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
1-5 地域コミュニティ の醸成支援	1-4 人口減少社会でも 活力あるコミュニティ の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な町民活動の振興による コミュニティ形成の支援 ●町民活動の横断的な連携の強 化 ●若年層が参加しやすいコミュ ニティづくりの支援 ●コミュニティ形成の場として の学校等の公共施設の有効活 用 	<p>1. 平成 28 年度行政評価 B：妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する</p> <p>2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 ・該当なし</p> <p>3. 町民 WS 意見で出された重要な取組 ・コミュニティの活性化支援・地域組織との連携</p> <p>4. 町長ヒアリングにおける発言 ・多様な町民活動の振興 ・町民活動団体等の横の連携の強化 ・人口減少社会でも持続可能な重層的なコミュニティの形成</p> <p>地域コミュニティを支える人材の高齢化による活動の低下は全国的な課題である。 二宮町においても、今後、人口減少と高齢化が同時に進む中で、コミュニティの維持が大きな問題になることが想定されており、若い人をコミュニティに巻き込むなど、コミュニティを活性化していくことは、町民WSでも今後の重要な取組とされている。 今日、コミュニティは地縁コミュニティ以外にも様々な活動を通じて形成されており、それらを活性化し、様々な活動を繋いでいくことで、人と人とのつながりを生み出し、多様な活動が様々な場所で展開されるまちを目指すことが、町の魅力となると考えられる。</p>

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
1-4 「にのみや Life」の 提案と発信	1-5 私らしい生活を体 現する「にのみや Life」 の提案と発信	<ul style="list-style-type: none"> ●二宮町の魅力や二宮らしい暮 らしなどに関する提案や情報 発信コンテンツづくりの推進 ●シティプロモーションを担う 町民団体との連携による情報 発信の促進 	<p>1. 平成 28 年度行政評価 B：妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する</p> <p>2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2-1-1 教育・保育環境の充実 ・4-1-2 空家を活用した定住促進のための住まいの確保 <p>3. 町民 WS 意見で出された重要な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校教育 ・空き家・空き地を活用したまちづくり ・移住・定住促進のための環境整備や県内外への PR 活動 ・テレワークなど多様な働き方ができる施策支援 ・吾妻山の自然などを楽しむ環境の整備 ・公園や緑地など緑を増やす <p>4. 町長ヒアリングにおける発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし <p>定住対策については、昨年度は転入が転出を上回る社会増となる など、取組が成果となって現れつつあるが、町民満足度調査では重 点的な改善が必要な取組となっているほか、町民WSでも、重要な 取組として、教育・保育環境の充実、テレワーク等多様な働き方が できる施策支援など、定住対策がクローズアップされている。 一方、シティプロモーションなどの取組については、町民が主体 的に活動を行っており、町民と行政との連携によるモデル的な取組 ともなりうる要素があることから、今後も引き続き取り組んでいくこ とが必要である。</p>

2 環境と風景が息づくまちづくり

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり	2-1 地域資源の保全と活用による町の魅力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 東大果樹園跡地などの町有地の利活用による交流拠点の形成 ● 吾妻山を中心とした魅力向上 	<p>1. 平成 28 年度行政評価 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する</p> <p>2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 ・該当なし</p> <p>3. 町民 WS 意見で出された重要な取組 ・吾妻山の観光資源の活用 ・SNS や TVCM など観光を振興するための情報発信の充実 ・町イベントの活性化・PR</p> <p>4. 町長ヒアリングにおける発言 ・東大果樹園跡地の活用による町の魅力の向上 ・庁舎跡地の活用による町の魅力向上</p> <p>町民WSでは観光による地域の活性化や産業振興などの視点から地域資源である吾妻山の活用や町のイベントの活性化、情報発信などが重要な取組とされており、吾妻山の魅力に加えて、庁舎跡地の活用や東大果樹園跡地などを活用した新たな魅力づくりを進め、それらを情報発信することで、さらなる町の魅力向上を図っていくことが必要である。</p>

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子 (案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
2-5 町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討	2-2 自然を身近に感じられる環境にやさしいまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギーの利用促進 ●自転車や公共交通の利用促進 ●自然環境の保全と美化活動の推進 ●地球温暖化対策の基盤づくり 	<p>1. 平成 28 年度行政評価 D：施策全体を見直す必要がある</p> <p>2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 ・4-1-1 適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導 ・4-2-2 地域交通の確保</p> <p>3. 町民 WS 意見で出された重要な取組 ・市街地のコンパクト化による公共交通の充実 ・LED 街路灯などの充実強化 ・吾妻山の自然などを楽しむ環境の整備 ・公園や緑地など緑を増やす</p> <p>4. 町長ヒアリングにおける発言 ・環境に優しい低炭素社会の構築 ・地球温暖化対策の充実 ・ゆとりやうるおいを感じられる住環境の保全・向上</p> <p>町民満足度調査では快適な住環境の整備誘導が重点的に取り組むべき施策となっているほか、町民WSでは吾妻山の自然等を楽しむ環境の整備が重要な取組とされるなど、自然や住環境の充実を求める町民意向が高い。</p> <p>また、地球温暖化対策は世界的な課題でもあり、町の自然環境を保全し、良好な住環境を次世代に残すことは、町の持続可能性を高める上でも重要であることから、エネルギーや交通などの分野における環境配慮の取組や住環境の保全・向上を進めていくことが必要である。</p>

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
2-2 子育てと仕事の両立の推進 2-3 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり 2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出	2-3 二宮らしい産業の振興と雇用機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●民間事業者や市民活動団体などによる小規模ビジネスに対する支援 ●民間事業者や市民活動団体の起業による雇用機会の創出 ●遊休農地を活用した農産物生産と農商工の連携の支援 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成28年度行政評価 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する 2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 ・該当なし 3. 町民WS意見で出された重要な取組 ・テレワークなど多様な働き方ができる施策支援 ・空き家・空き地を活用したまちづくり 4. 町長ヒアリングにおける発言 ・二宮らしい「小商い」の振興 ・民間活力の活用 <p>商業やサービス業を中心とした産業は、町民生活の利便性の視点や町民の働く場としての視点、税収の確保という視点からも重要である。</p> <p>町民WSではレンタルオフィスなどに対する支援が移住対策の視点から重要な取組とされており、こうした取組と合わせて、町民の活動を起業につなげていくための取組を引続き重点的に取り組むことで町の内発的な活性化を進めていくことが必要である。</p>

3 交通環境と防災対策の向上

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり	3-1 新庁舎整備による安全・安心な町の拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●ラディアン周辺での新庁舎の整備推進 ●新庁舎整備を契機としたラディアンの活用促進 ●公共施設の再編の推進 	1. 平成 28 年度行政評価 A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する
			2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 ・該当なし
			3. 町民 WS 意見で出された重要な取組 ・安全性の高い公共施設
			4. 町長ヒアリングにおける発言 ・新庁舎の整備 ・既存の公共施設の活用と公共施設の再編
			町民WSでは安全性の高い公共施設が重要な取組とされており、災害時の防災拠点となる安全性の高い町役場の整備は課題である。また、町の中心的な公共施設であり、町民の利用も多いラディアン周辺に町役場を集約整備することで、町民の利便性も高まることから、重点的に推進する必要がある。

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
3-1 災害や犯罪に備える地域づくり	3-2 自然災害に対する防災・減災対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設の安全性の確保や一般住宅の耐震化の促進 ● 自助・互助・共助・公助による防災力・減災力の向上 	<p>1. 平成 28 年度行政評価 A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する</p> <p>2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 ・ 5-3-3 公助活動と危機管理体制の強化</p> <p>3. 町民 WS 意見で出された重要な取組 ・ 災害に強いまちづくり</p> <p>4. 町長ヒアリングにおける発言 ・ 該当なし</p> <p>近年、地震や集中豪雨などが頻発し、防災・減災対策は喫緊の課題といえる。 町民満足度調査でも公助活動と危機管理体制の強化は重点的な改善が必要な施策となっているほか、町民 WS でも災害に強いまちづくりが重要な取組となっており、建築物の耐震化や防災力・減災力の強化に、引続き重点的に取り組んでいくことが必要である。</p>

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり (公共交通)	3-3 都市基盤の強化と町民の交通環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●安全で快適な暮らしを支える道路・橋梁の整備・管理の推進 ●生活の足の確保と移動支援策の研究 	1. 平成 28 年度行政評価 A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する
			2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 ・4-2-1 道路の整備と管理 ・4-2-2 地域交通の確保
			3. 町民 WS 意見で出された重要な取組 ・市街地のコンパクト化による公共交通の充実
			4. 町長ヒアリングにおける発言 ・住民ニーズに応じた公共交通の利便性の向上
			<p>今後、高齢化が進んでいく中で、自動車を運転できない高齢者の増加が想定され、町民の日常生活の移動手段を確保することが重要であり、町民満足度調査でも、地域交通の確保が重点的な改善が必要な施策となっているほか、交通インフラである道路の整備と管理も同じく重点的な改善施策となっている。</p> <p>また、町民WSでも市街地のコンパクト化による公共交通の充実が重要な取組とされており、道路の整備と管理、町民ニーズを踏まえた公共交通の充実に取り組んでいくことが必要である。</p>

4 戦略的行政運営

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子(案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
4-2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進	4-1 効率的な行財政運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●長期的・戦略的な視点に立った行財政運営の推進 ●広域行政の推進 ●アウトソーシングによる行政のスリム化の推進 ●行政評価や行政改革に基づく効果的・効率的な行財政運営の推進 	1. 平成 28 年度行政評価 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する
			2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 <ul style="list-style-type: none"> ・7-3-1 計画的な行財政改革の促進 ・7-3-2 安定的な財政基盤の確立
			3. 町民 WS 意見で出された重要な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・効率的行政運営 ・効率的行政運営のための広域行政取組強化
			4. 町長ヒアリングにおける発言 <ul style="list-style-type: none"> ・アウトソーシングの推進 ・広域行政の推進
			<p>今後、人口減少や高齢化が進むことで、税収の減少や扶助費の増加などが想定される。</p> <p>町民満足度調査でも、計画的な行財政改革の促進や安定的な財政基盤の確立が重点的な改善が必要な施策となっているほか、町民WSでも効率的行政運営や効率化のための広域行政取組強化が重要な取組となっていることから、今後も引続き行財政改革や広域連携の強化等に取り組んでいくことが必要である。</p>

重点的方針 (中期基本計画)	後期基本計画における 重点的方針の骨子 (案)	後期基本計画における 重点的方針の主な内容	重点的方針とする根拠
4-1 職員のスキルアップによる運営能力の向上	4-2 町民とともにある自治体運営の推進と職員能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内外への情報発信と町民との対話の拡充 ● 町民との連携や政策形成・遂行のための職員能力の向上 	1. 平成 28 年度行政評価 A：妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する
			2. 町民満足度調査の重点改善分野の施策 ・ 7-1-3 職員の能力の向上
			3. 町民 WS 意見で出された重要な取組 ・ 広報にのみやを使った情報発信など広報の充実 ・ コミュニティの活性化支援・地域組織との連携
			4. 町長ヒアリングにおける発言 ・ 該当なし
			<p>町民ニーズが多様化するなかで、町民の生活満足度を高めるためには、町民と行政が連携しながらまちづくりを主体的に進めていくことが必要となり、そのためには行政職員には町民との対話能力や政策形成・政策遂行能力が求められる。</p> <p>一方、町民もまちづくりに関心を持ち、まちづくりの主体として積極的に参画することが求められ、行政側ではそのための情報発信が重要となる。</p> <p>町民満足度調査では、職員の能力向上が重点的な改善が必要な施策となっているほか、町民WSでは、情報発信などの広報の充実が重要な取組となっていることから、今後も引き続き、職員の資質の向上や町民との連携に向けた効果的な情報の受発信に重点的に取り組んでいく必要がある。</p>